

横浜市港南区役所 御中

港南区民文化センター  
平成22年度事業計画書

平成22年2月1日

京急グループ共同企業体

## イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

## 文化事業の概要と取組み方

文化事業の根幹である3事業【鑑賞/地域文化活動支援/情報・相談・交流】を通して、区民文化の啓蒙、育成、創造を図り、区民協働意識の醸成と共に、文化活動を基にした地域コミュニティの構築、活性化を図って参ります。貸館事業は、上記3事業の理念を補完する事業と位置づけ、取り組んで参ります。

私共は、京急沿線各所で実施した再開発事業での街づくりの実績を元に、京急グループの流通、サービス、広告等の各社が連携し、港南区民文化創造に向けて尽力致します。



## 【1】鑑賞事業

鑑賞事業は、良質の文化に触れ、創造への興味を喚起し、創造への可能性を引き出す、啓蒙育成活動をテーマとして、開館以来築き上げられたプログラムを尊重、継承し、以下の3つの施策の元に、企画実施をして参ります。

## 1. 多様な文化の紹介

- (1) 洋の東西、時代を問わず、様々な表現活動を紹介して参ります。
- (2) 日本文化の伝承は、国際交流に於ける日本人のアイデンティティ確立に必須と考えます。  
日本の古典芸能を身近に体験する機会が失われつつあり、鑑賞事業を通して、その魅力を認知する企画構成を図ります。
- (3) 『ひまわりの郷』施設の利用の可能性を提案する演目により、時代と共に変遷する文化の紹介を通して、地域活動支援事業の一環とも致します。
- (4) 上記、企画採用の基準は、ホール音響特性や、客席構造を活かした空間とのコラボレーションなど、『ひまわりの郷』の魅力、可能性を引き出す物を対象とします。

## 2. ターゲット別演目

- (1) より多くの方々に、区文を利用して頂くために、通常演目の他にターゲット別の個別事業を実施して参ります。
- (2) ハンディキャッパー・乳幼児世帯向け演目（ハンディキャッパー・子育て世代が、気兼ね無く楽しめるクラシック演目の企画）
- (3) 中高生向け演目（後述する企画組織に参画する中高生提案を企画に反映し、区文活動への参画促進）
- (4) 幼少向け演目（鑑賞活動入門をテーマに、同質演目で、毎年継続するプログラム）
- (5) 成熟した鑑賞者向け演目（区文ならではの、良質なプログラムを廉価で提供）

## 3. 区民ニーズ

- (1) 『ひまわりの郷』レポートリーシステム  
開館以来実施されてきた事業、今後実施される事業は、区文にとって大きな財産です。これらを区文レポートリープログラムと位置づけ、個別事業ごとの評価（アンケートなど）を元に、再演システムを取って参ります。限られたキャパシティの中で、より多くの方に鑑賞して欲しい、再度鑑賞したいなどの評価を受けた演目を、定期的に開催して参ります。
- (2) 多種多様な価値観を持った区民ニーズに応えるために、積極的に外部企画を募り、区民公募企画と共に、後述する企画会議において、選定して参ります。

団体名

京急グループ共同企業体

## イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

## 【2】地域文化活動の支援事業

区民文化の啓蒙・育成の視点から、区文文化事業の優先事業は、地域文化活動の支援事業であると考えます。活動の支援は、発表の場を提供すると共に合わせて、啓蒙、育成、創造を通して、港南文化の発展に寄与して参ります。

特に、育成事業に於いては中長期にわたる継続性と、ステップアップの発展性を重視し、開館以来培われた育成事業を継承、発展させていき、事業の連続性が途絶える事の無いよう配慮致します。

私達は以下の3つの視点より活動支援を行って参ります。

## 1. 育成・創造

- (1) 地域活動団体の育成  
発足間もない団体への助言、制作手法の伝授や、舞台技術の研修、レベルアップを図るワークショップを開催し、育成の一助と致します。将来的には、区文利用団体の舞台技術の自主操作を目指し、リハーサル使用時の、運営負担軽減を図って参ります。
- (2) 次世代の育成  
上記育成事業とは別に、中高校文化団体を対象にしたワークショップを開催し、展示・公演手法の紹介、舞台知識の啓蒙を図り、区文活動参画の足掛かりとし、将来的には中高生の組織化を図り、港南文化の次世代の担い手を発掘、育成して参ります。
- (3) 区民文化の創造  
ワークショップとして実施している、フルート・リコーダー・ギターの講座卒業生を中心に、ひまわりの郷音楽グループの育成を検討し、区民文化育成創造への端緒とします。

## 2. 共催

- (1) 地域行事との連携  
区民生活に密着した地域行事との連携により、より身近に区文の存在を位置づける事が出来ます。事業実施のタイミングを地域行事・周辺商圈との連携を図る事により地域活性化に寄与します。
- (2) 地域イベントへの参画  
地域イベントへの共催参画により、区民共有のイベントを発掘・育成して参ります。

## 3. アウトリーチ

- (1) 区文認知と文化啓蒙を第1義に、青少年をターゲットにした学校関係へのアウトリーチを長期計画で実施して参ります。特に吸収力の旺盛な若年世代への働きかけは、協働参画意識向上の一助と考えます。
- (2) 施設利用文化団体、利用希望団体への技術指導、団体運営助言を積極的に行い、協働で地域施設へのアウトリーチ活動を展開して参ります。
- (3) 中高校での文化部活動を積極的に支援し、青少年の文化レベルの向上を図ります。
- (4) 区文活動への自主的参画機運を醸成し、次代の区文事業を担う人材育成を図るとともに、長期的には、個別事業全体を自主制作する組織作りを目指して参ります。

団体名

京急グループ共同企業体

## イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

## 【3】 情報、相談、交流事業

情報、相談、交流事業は、啓蒙、育成、創造、そして文化活動を通しての街づくりの土台となる事業と捉え、以下の3つの視点より取り組んで参ります。

## 1. イベントはパブリシティに始まり、パブリシティに終わると言われております。

- (1) イベントの際に、制作者として心掛ける事として上記のように言われます。  
事前広報によって、集客、イベント認知を図り、事後広報によって、成果を問い非来場者への来場意識を醸成する意図があります。
- (2) 情報発信は域内、区内、市内、市外とその発信エリアによって形態が異なります。域内では、区文内情報コーナー、区内では、区報、区役所、区外では、各区文化施設、市内では、市広報誌、市役所、市外では、鉄道沿線、バスターミナルを想定しております。これら関連諸機関と連携、連動を図り、ひまわり通信、HPを活用し情報発信して参ります。
- (3) 街づくりの観点より、区民の情報発信スペースを区文情報コーナーに限定せず、**京急 上大岡駅内アドボード・バスターミナルアドボード**を活用し、幅広い域内来街者へ発信するサービスを提供致します。来街者の水平導線と待機時間に直接働きかけ、区文活用目的外の方々へ区文認知と新規利用者の拡充、文化団体の活動支援の一環として、パブリシティ支援を行います。
- (4) **昨年度ロビー内に新設した【ひまわりアドTV】**では、事業案内を始め、施設関連情報を動画配信し更なる情報浸透を図っていきます。  
また、**今年度からは施設利用者の情報配信を行ない、文化活動を支援してまいります。**

## 2. 楽市・楽座

- (1) 文化という資産が集積し、人が集い、情報が行き交う、自由闊達な空間作りを目指します。
- (2) 区文の役割として、活動団体に各種公演情報の提供、活動に関連する素材、技術、仕方方法などの情報提供と、ご相談に乗り、【文化に関する事は、区文で！】を目指します。
- (3) アウトリーチ活動の端緒として、教育施設文化担当者、総合学習担当者、高校文化団体、PTAへの積極的な情報提供、技術提供、相談活動を推進し、区文運営協働参画機運を醸成致します。
- (4) **今年度より、情報コーナーへPC検索システムを新設し、港南区市民活動支援センターが発行している【街のアドバイザー】**を電子化し、検索システムにより求める人材を容易に見つける事が出来る仕組みを作り、更なる**人材交流を促進**する一助と致します。

## 3. 人の輪

- (1) 区内の各種団体（文化・地域・教育）により区文運営協議会を構成し、区分を核とした交流の場を提供していきます。
- (2) 区文運営を協議する運営協議会、文化事業を企画する企画委員会、個別事業を運営制作する実行委員会を組織し、各団体のそれぞれの立場より、提言、立案、運営を致します。
- (3) 上記、企画、実行委員会に、中高校文化団体の参画を促進し、世代を網羅した組織構築を目指します。
- (4) 他区区文との交流、連携を図り、情報交換、文化交流を図って参ります。

団体名

京急グループ共同企業体

## イ-(7)-a 文化事業の概要と取組み方

## 【4】 地域コミュニティの活性化

先般の新潟地震の被災者の皆様が避難所生活の中で、地域単位の避難所生活が大きな力になったと語っていました。首都圏住民の生活範囲は、交通網、通信網の発展拡充と共に、区内に留まらず大きな広がりを見せています。一方で、地域への帰属性が薄く、地域コミュニティ活動の沈滞化、高齢化が言われております。教育機関単位では、PTA、おやじの会などが組織され、子弟教育への取組みが成されていますが、継続性が無く期間限定のコミュニティとなっております。区文活動の中で文化をキーワードにし、以下の3つの視点より、地域コミュニティ活性化を図り、街づくりの一助といたします。

## 1. 世代を超えた連携

- (1) 運営協議会など区文組織をベースに、幅広い世代が交流し、連携を図り地域コミュニティ参画の端緒とします。

## 2. 個人ボランティア育成

- (1) 高齢化社会の到来と共に、人生の第2ステージのあり方が問われています。地域への参画を意図されている方々を対象に区文組織（実行委員会等）への参加を公募し、ボランティアスタッフを育成します。
- (2) 地域の隠れた技能者、経験者の発掘、資源化に繋がり、アウトリーチへの活用を目指します。

## 3. 地域商圏・企業との連携

- (1) 地域商圏との連携、協働により、街づくりへの提言、ニーズの取得が可能となり、健全な地域の発展に寄与する基盤作りが可能となります。

団体名

京急グループ共同企業体



## イ - (7) -b 指定期間（平成 18 年度から平成 22 年度の間）に実施する文化事業の概要と取組み方

## ■指定期間の文化事業の実施方針

## 【3つの実施方針】

## 【1】継承・伝承

新体制化での運営は、利用者にとって大きな不安要素の一つでもあり、新体制への信頼を勝ち取る事が、今後の協働作業には不可欠な点であると考えます。運営管理全般に於いて、継承し、協働で改善する流れを作って参ります。文化面に於いては、日本文化の伝承と発展創造を基軸とします。

## 【2】継続と発展

若年者育成に代表される、新しい層の取り込み育成のために、育成プログラムを作成し、年度ごとに反復継続し、ステップアップに対応する発展プログラムと共に、中長期にわたる事業展開を図ります。

## 【3】感動と創造

受け手として、送り手としての感動を享受し、創造の喜びを体感できる事業展開を図ります。

## 平成 18 年度 継承

- ・継承の年／実績を尊重し、守り継続する
- ・開館 10 周年に向けての、調査、企画／データベース化
- ・新たな取り組みへの地域、商業施設、企業との調整

## 平成 19 年度 開館 10 周年

- ・10th アニバーサリー通年プログラム
- ・10th アニバーサリーで構築した地域一体化プログラムの通年調整・企画
- ・継続事業のプログラム化

## 平成 20 年度 継続・発展

- ・区制 40 周年／市制 120 周年／開港 150 周年に向けての調査・企画
- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施

## 平成 21 年度 区制 40 周年

- ・区制 40 周年／市制 120 周年／開港 150 周年プログラム
- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施
- ・ボランティアスタッフの自立

## 平成 22 年度 継続・発展

- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施
- ・地域・学校への活動展開（アウトリーチ）
- ・文化団体の拠点、地域の文化情報拠点化

団体名

京急グループ共同企業体

## イ - (7) -b 指定期間（平成 18 年度から平成 22 年度の間）に実施する文化事業の概要と取組み方

## ■指定期間の文化事業の概要

## ■平成 18 年度

- ・ホール鑑賞事業／弦楽物語（継続事業）2 回・日本文化シリーズ 4 回・その他 6 回
- ・4.5 シアター（継続）12 回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・文化事業推進組織の基盤整備／交流事業の推進
- ・開館 10 周年事業の企画・区内文化資源の調査発掘／周辺関連団体企業との連携組織整備
- ・ボランティアスタッフの公募／研修／組織化（以後通年化）
- ・アドボード活用推進
- ・中高校団体参画整備

## ■平成 19 年度

- ・ホール鑑賞事業／10 周年をキーワードにした企画内容とし、8 月にメイン事業を実施（地域一体事業）
- ・4.5 シアター・ウェルカムキッズ 11 回
- ・活動支援事業は前年度実績を継承
- ・文化事業推進組織の基盤整備／交流事業の推進
- ・中高校団体参画活動開始

## ■平成 20 年度

- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサートシリーズ 7 回・ひまわり紀行 2 回・その他 6 回
- ・4.5 シアター（継続）6 回／ウェルカムキッズ 6 回
- ・活動支援事業／ひまわり寄席・子供ミーツオーケストラ・器楽ワークショップ
- ・区制 40 周年／市制 120 周年／開港 150 周年に向けての企画・行政、財団、他区文との調整／区内文化資源調査促進
- ・地域一体事業の推進／区民コンサート・ストリートダンスコンテスト

## ■平成 21 年度

- ・ホール鑑賞事業／区制 40 周年をテーマにしたプログラム
- ・4.5 シアター（継続）6 回／ウェルカムキッズ 6 回
- ・活動支援事業／ひまわり寄席・子供ミーツオーケストラ・器楽ワークショップ
- ・区制 40 周年／市制 120 周年／開港 150 周年に向けての企画・行政、財団、他区文との調整／区内文化資源調査促進
- ・地域一体事業の推進／区民コンサート・ストリートダンスコンテスト
- ・運営組織・ボランティア組織の熟成／区制 40 周年事業の自主運営
- ・市制 120 周年／開港 150 周年事業については連携を図る

## ■平成 22 年度

- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサートシリーズ 7 回・ひまわり紀行 1 回・その他 7 回
- ・4.5 シアター 6 回（基本奇数月）／ウェルカムキッズ 6 回（基本偶数月）／アウトリーチ事業 3 回
- ・活動支援事業／ひまわり寄席・子供ミーツオーケストラ・器楽ワークショップ
- ・区民協働創造事業／ひまわりオペラ（新規）・ストリートダンスコンテストの高校生主体運営の熟成
- ・ターゲット別事業の継続と発展
  - ハンディキャパー向け／手話ミュージカルさいろ組共同主催
  - 高校生向け／港南ストリートダンスコンテスト（高校生運営体の組織化）
  - 乳幼児向け／ウェルカムキッズ・4.5 シアター（情操・鑑賞教育）
  - 高齢者向け／シネオペラ・シネミュージカル（映像鑑賞）
- ・文化情報の IT 化を図り、地域文化情報の拠点化を確立する

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(ア)-c 平成22年度の文化事業の具体的な企画提案

■事業方針

過去4年間において、区民向け提案実施してきた事業方針の更なる認知を目指し、シリーズ化した事業を継続実施すると共に、仕組みの成熟化に向けて活動組織をブラッシュアップして参ります

1. 事業

- (1) 過去4年間実施の多くのプログラムはアンケートからも好評であり、引き続き22年度も実施。特に45シアター・ウェルカムキッズについては、事業目的である、育成・啓蒙等が認知支持され好評を博しています。今年度は、地域の講師、出演者への依頼度を高め、地域との協働作業を進めます。
(2) 活動支援事業についても、基本的に希望団体は継続とし、一方で支援促進のための後援の仕組みを熟成させ、広報との連動による後援事業の区民認知を図って参ります。
(3) ひまわり通信・HPは、更なる充実を図るとともに、ひまわり推奨システム等魅力的な広報を目指します。

2. 公募企画

- (1) 全ての事業に、公募窓口を設置し、多様なニーズに対応して参ります。企画採用に関して、区民組織による企画委員会、職員は、助言・提言・補完業務を行って参ります。
(2) 自主事業構築にあたり、共同主催を積極的に推進し、事業予算の逓減を企図すると共に、事業量の充実を図って参ります

3. ターゲット別企画

- (1) 世帯高齢化対策の一環として、子育て世代限定クラシックコンサート(ウェルカムキッズ)など子育て世帯にやさしい街を印象づけ、若い世帯の環流促進の一助とします。
(2) 中高校生主導企画(ストリートダンスコンテスト)を引き続き実施し、高校生参画の実践として、実行委員会形式の運営による幅広い文化ジャンルに参画、協働、交流を促進します。
(3) ハンディキャッパー向け事業は、専門的事業者との連携を図り、企画に積極的に関わることで、独自のプログラム構築と質の高い事業化を図って参ります。

4. アウトリーチ

- (1) 20年度より実施した【港南中央地域ケアプラザ】とのアウトリーチ事業は、大きな成果を上げることが出来、受託側より継続実施の依頼があり今年度はさらに対象を広げ実施予定とします。
(2) 事業経費については、横浜市地域文化拠点機能強化事業(年2回・20年度実績)の活用と、京急グループ共同企業体の協賛により引き続き実施予定

5. 区民協働創造事業

- (1) 18年度より実施した【港南ストリートダンスコンテスト(KSDC)】は、入賞者のY150出演を契機として区内行事への参加など地域への認知も進み、主体となる高校生の参加意欲も増し港南区文化資産として醸成して参ります。
(2) 今年度新たな試みとして横浜市在住者が参加創造する【ひまわりオペラ】を企画いたします。市民創造事業の熟成化企画として、またオペラ・オペレッタを市民が身近に親しめる物として気軽に参加、鑑賞する場を作り地域社会の音楽文化・芸術の普及振興を図って参ります。

6. 情報・交流

- (1) 過年度に引き続き、月刊、DM、アドボード(上大岡駅・バスターミナル)、駅張り広報、新設した【ひまわりアドTV】での広報を実施し、ひまわりの郷の認知促進を図ります。
(2) 事業制作、技術アドバイスを通じて、地域との交流を図るとともに、積極的な技術支援を端緒に、アウトリーチの拡充を図って参ります
(3) 新設したアドボードを活用し、事業案内、施設案内に留まらず、文化交流の支援活動に貢献していきます。

団体名

京急グループ共同企業体

イ-(ア)-c 平成22年度の文化事業の具体的な企画提案

Table with 5 columns: 事業種別, 企画名, 企画概要, 時期・期間, 経費見込み(千円). Rows include 区民公募企画(啓蒙), 区民公募企画(講座), ひまわりフェスタ, オアシスコンサート, ひまわり紀行, その他企画, Welcome Kids, 45シアター, アウトリーチ, ひまわり通信, ホームページ運営, 運営協議会, 企画委員会, 実行委員会.

1: 鑑賞事業 2: 地域文化活動の支援事業 3: 情報・相談・交流事業

Activity matrix table with 13 columns (4-12, 1-3) and 5 rows (ホール鑑賞, ウェルカムキッズ, 活動支援, HP, アウトリーチ, ワークショップ). Includes legend for activity types and participation status.

●ホール鑑賞事業 ★サマーフェスタ ●ウェルカムキッズ ●45シアター ○運営協議会 ○アウトリーチ

団体名

京急グループ共同企業体



### イ - (イ) - a - a) 開館時間の勤務シフト・休館日設定の考え方

#### ■開館時間の設定

##### 【利用者の利便性を第1に現制度を継承】

- (1) 使用時間変更は長らく慣れ親しんだ利用者にとって、不便を感じる物です。利用者の利便性を第1に考え現制度を継承し、運用方法でのサービスを心掛けます。
- (2) 9時から22時までの開館時間は、多くの利用者にとって使い勝手の良い設定であると考えます。しかしながら、日程の都合で、リハーサル日を設定できない等の個別事情に対しては、時間延長等の柔軟な対応で解決していく事が重要と考えます。

##### 【時間外利用対応】

- (1) 時間外利用に対しては可能な限り柔軟に対応して参ります。  
区文は、複合ビル内のセキュリティシステムにより23時～7時までの使用は不可能です。  
しかしながら、前後合わせて3時間の延長使用は、管理上可能と考えられます。

##### 【勤務体制】

- (1) 職員等（館長・副館長を含む）の基本労働時間は、9時間拘束8時間の所定労働時間とし、8時30分～17時30分基本時間とします。
- (2) 開館前の作業点検を行いお客様をお迎えする準備を行います。
- (3) カルチャースタッフは現契約を継続し、勤務時間についても現行を継承致します。
- (4) 終業時間については、閉館作業、2交代制のための事務引き継ぎ等を考慮し閉館時間後30分を原則とします。

##### 【検討課題】

私共が実際にホール利用者の立場から、舞台管理体制を見た場合、2交代制が不安であり、不満でもありました。特に、事前打ち合わせ者と、当日担当者の違い、仕込・リハーサル・本番での担当者の入れ替わりは、充分な引き継ぎがあるとしても、創作活動は人間関係が大きな要素を持っており、信頼関係構築の面からも**個別事業ごとの担当制**を極力実施する

- (1) 打合せから終演まで1担当
- (2) 特に使用日の担当者の固定化

	8:30	9:00	13:00	18:00	22:30
館長					9:00~18:00
副館長・職員					8:30~17:30 2名 <small>客席セット時(15分前開始)</small> 14:00~22:30 1名
技術管理職員					8:30~17:30 1名 <small>客席セット時(15分前開始)</small> 14:00~22:30 1名
運営 カルチャースタッフ					8:45~17:15 1名 13:45~22:15 1名
サービス カルチャースタッフ					9:00~13:00 2名 13:00~18:00 2名 18:00~22:00 2名
設備管理要員					開館時間前心電図常駐 点検は開館前実施

団体名

京急グループ共同企業体

### イ - (イ) - a - a) 開館時間の勤務シフト・休館日設定の考え方

#### ■勤務シフト

##### 【多様なニーズに対応する柔軟なシフト】

- (1) 多様な形態を持つ複数の施設を抱える区文の運営は多様な利用者ニーズがあり、柔軟な体制作りが要求され、基本人員構成は、事務職、技術職に2分されるが全職員全てのスキルを兼ね備えその業務を補完します。
- (2) 特に利用者の多いと想定される午後に対応した人員配置計画策定のために、技術管理職員にも対応可能な人材を配置し、効率的な勤務体制を確立致します。

##### 【基本シフト】

- (1) ~17時30分 職員・カルチャースタッフ 2名以上、技術管理職員 1名以上
- (2) 夜間 職員・カルチャースタッフ 2名、技術管理職員 1名

##### 【随時増員体制】

- (1) 稼働率、内容によって大きく変動する技術管理は、過不足ない体制を構築致し、技術管理職員の常駐を可能とします。

##### 【労働関係法の遵守】

- (1) 労働関係法を遵守し、利用者ニーズに最大限応えていくために、裁量労働制の採用など、継続的に検討、調整して参ります。

#### ■休館日の設定

##### 【設備機器保守点検日程の固定化】

- (1) 設備機器点検、定期清掃により、年間数日を要します。利用者の利便性と保守業者の工程管理計画策定のために毎月、曜日、もしくは日を固定化し設定致します。
- (2) ビル全体の、保守点検日は、休館と致します。

団体名

京急グループ共同企業体

## イ - (イ) - a - c) 情報コーナーや諸施設の活用方法と提供できるサービスの提案

## ■情報コーナー・諸施設の活用方法

## 【文化ナレッジセンター】

- (1) 文化に関する事ならば、『ひまわりの郷』という区民の評価を目指し、港南区文化資源の発掘、広域催事情報の収集、データベース化を促進して参ります。
- (2) 制作関連情報のデータベース化を図り、制作業務に関わる種々の情報提供による、お助けコーナーを目指します。
- (3) 情報コーナーに新設する PC 検索システムにより港南区市民活動支援センターが発行する地域の文化活動に関わる先生のデータベースを構築し、『街の先生』の情報公開と活用の一助と致します。港南区市民活動支援センターと連携し、積極的に【街の先生】人材の発掘に寄与し、情報取得して参ります

## 【文化活動団体情報交換】

- (1) 新設した【ひまわりアドTV】において利用各団体の情報を配信いたします。希望する団体の、会員募集をはじめとする情報交換の場として活用頂きます。

団体名

京急グループ共同企業体

## イ - (イ) - a - c) 情報コーナーや諸施設の活用方法と提供できるサービスの提案

## ■京急グループ・京浜急行電鉄が提供できるサービス

## 【誘導案内表示】

- (1) 多種多様な施設が、有機的に結合している『ゆめおおおか』では、『ひまわりの郷』へのアクセスも多様にあり、初めてのお客様が迷われるケースも散見します。『ひまわりの郷』への誘導案内表示を誰でも解るようにフロアサイン設置等の改善を継続致します。

## 【広報宣伝施策】

- (1) 京浜急行電鉄として、上大岡駅構内に『ひまわりの郷アドボード』を設置し、京急線利用者に、PRいたします。
- (2) 新設した【ひまわりアドTV】において、自主事業案内、休館案内その他関連する行政発信情報等を動画配信いたします。  
また、ひまわりの郷で公演される一般主催者の公演情報を希望により有料配信し、公演活動を支援して参ります。
- (3) 京急百貨店カスタマークラブ『オーカスクラブ』機関誌において、自主事業チケットの販売、公演案内を掲載し、引き続き、販売促進を図って参ります。
- (4) 上大岡バスターミナルの壁面及び柱面に設置されておりますアドボードに『ひまわりの郷』の誘導案内、及びに催事案内を積極的に提供致します。
- (5) 地元密着情報発信・CATV 港南と積極的に情報交換を行い、区民への『ひまわりの郷』情報を提供致します。

## 【『ひまわりの郷』活動支援】

- (1) 上大岡在住の有志が企画運営しております『ひまわり寄席』の開催を積極的に支援し、自主事業との連携を図り地域文化の醸成に務めます。
- (2) ひまわりの郷をご利用頂く利用者に対し、舞台技術、制作運営の手法を自主事業及び利用団体公演を通し新たな手法を提案助言し、技術手法向上に寄与します。

## 【アウトリーチ活動支援】

- (1) 館外への照明器具、音響器具（グループ備品）の安価なレンタル（例：500 W SPOT 200 円）
- (2) 消耗品の安価な販売斡旋（グループ企業斡旋、『ひまわりの郷』割引設定）  
（例：照明用フィルター小分け販売 8 インチ 1 枚 100 円、6 インチ 1 枚 70 円）
- (3) 舞台用品の安価なレンタル斡旋
- (4) 各種オペレーターの安価な派遣

## 【個人情報保護について】

- (1) 個人情報保護意識の高まりと法制化により、個人情報保護規定の整備は喫緊の課題とされておりますが、当グループにおいては、2010年3月末に現業部門のプライバシーマーク（P-MARK）取得を予定しており、22年度より規定下での業務を開始致します。
- (2) P-MARK 取得により、個人情報取扱における従業員の意識向上と、リスク回避のためのシステムが整備され、利用者の個人除法を安全・安心に取り扱う事が実現され、施設への信頼を醸成する事となります。

団体名

京急グループ共同企業体



■平成22年度 ひまわりの郷 自主事業（鑑賞）年間計画

ホールイベント 年間12回程度実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひまわり紀行 1回</li> <li>●オアシスコンサート 7回</li> <li>●その他 7回（器楽ワークショップ発表会・DANCE CONTEST含む）</li> </ul>
その他 イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウエルカムキッズ 6回 基本偶数月</li> <li>●45シブター 6回 基本奇数月</li> <li>●アウトリリーチ事業 3回</li> </ul>

年度	区分	タイトル	場所	月日	予算	集客予定	予定価格	収入見込
1	4月	Welcomekids Vol. 1	ホール	4月10日	150,000	240名	500	120,000
2		オアシスコンサート Vol. 1	ホール	4月10日	100,000	192名	1,000	192,000
3		オアシスコンサート Vol. 2	ホール	4月18日	50,000	318名	5,000	50,000
4	5月	その他 Vol. 1	ホール	5月15日	500,000	300名	2,500	750,000
5		45シブター Vol. 1	音楽	5月30日	150,000	50名	500	25,000
6	6月	Welcomekids Vol. 2	ホール	6月12日	150,000	240名	500	120,000
7		オアシスコンサート Vol. 3	ホール	6月27日	50,000	318名	5,000	50,000
8	7月	45シブター Vol. 2	音楽	7月3日	150,000	90名	500	45,000
9	8月	その他 Vol. 2/ Welcomekids Vol. 3	全館 ホール	8月21日	1,000,000	240名	500	120,000
10		ひまわり紀行 Vol. 1	ホール	8月21日	50,000	192名	2,500	25,000
11		その他 Vol. 3	ホール	8月29日	200,000	384名	3,000	60,000
12	9月	45シブター Vol. 3	音楽	9月11日	150,000	50名	500	25,000
13		オアシスコンサート Vol. 4	ホール	9月23日	50,000	318名	5,000	50,000
14		その他 Vol. 4	ホール	9月25日	200,000	192名	0	0
15	10月	Welcomekids Vol. 4	ホール	10月9日	150,000	240名	500	120,000
16		オアシスコンサート Vol. 5	ホール	10月11日	50,000	318名	5,000	50,000
17		45シブター Vol. 4	音楽	10月30日	150,000	100名	500	50,000
18	11月	オアシスコンサート Vol. 6	ホール	11月28日	50,000	318名	5,000	50,000
19	12月	Welcomekids Vol. 5	ホール	12月11日	150,000	240名	500	120,000
20		その他 vol. 5	ホール	未定	1,500,000	300名	4,000	1,200,000
21	1月	45シブター Vol. 5	音楽	1月8日	150,000	50名	500	25,000
22	2月	Welcomekids Vol. 6	ホール	2月12日	150,000	240名	500	120,000
23		オアシスコンサート Vol. 7	ホール	2月13日	50,000	318名	5,000	50,000
24		45シブター Vol. 6	音楽	2月26日	150,000	50名	500	25,000
25	3月	その他 Vol. 6	ホール	3月12・13日	2,500,000	480名	3,500	1,680,000
26		その他 Vol. 7	全館	3月26日	1,500,000	330名	0	0
		小計			9,500,000	6,108名		5,122,000

その他事業

1	6～8月	器楽ワークショップ	フルート・リコーダー・ギター	音楽		講座受講料 で運営		
2	8～2月	オペラワークショップ	ひまわりオペラ合唱団	音楽		「ひまわりオ ペラ」に含む		
3		アウトリリーチ事業			年3回	60,000	150名	

事業費合計

9,660,000



## 収支予算書

(単位:円)

科目	金額	内訳
指定管理収入	135,000,000	
利用料収入	26,500,000	施設使用料
自主事業収入	5,122,000	入場料
その他収入	150,000	チケット販売手数料
〃	380,000	広告費
〃	550,000	自販機手数料
合計	167,702,000	

科目	金額	内訳
1.人件費		
①社員派遣費(付帯人件費等除く)	55,760,000	館長、副館長、職員9名 合計11名(一部職員は音響・照明・舞台操業業務)
②カルチャースタッフ他	11,400,000	サービスカルチャースタッフ15名(常時2名)、自主事業応援アルバイト
1.小計	67,160,000	
2.事務費		
①印刷関係費	2,100,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
②リコーリース(リソグラフ)	330,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
③富士ゼロックス(コピー)	450,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
④通信費(NTT関連)	350,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
⑤配送費(ヤマト他)	800,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
⑥ホームページ更新	80,000	担当会社:クラフト
⑦ニーズ対応費	200,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
⑧諸口	1,600,000	上記以外の諸経費 担当会社:京急アドエンタープライズ
⑨運営事務管理費	2,549,000	管理会社経費(常勤社員以外の人件費一部補填)担当会社:京急アドエンタープライズ
2.小計	8,459,000	
3.事業費		
①自主事業実施費	9,660,000	
3.小計	9,660,000	
4.管理費		
①水光熱費	21,000,000	電気、水道、空調 担当会社:京急アドエンタープライズ
②修繕費	1,200,000	担当会社:クラフト
③設備管理業務	20,200,000	担当会社:京急サービズ
④舞台機構保守点検	3,760,000	担当会社:クラフト
⑤舞台音響設備保守点検	1,470,000	担当会社:クラフト
⑥舞台照明設備保守点検	1,100,000	担当会社:クラフト
⑦ピアノ保守点検	480,000	担当会社:クラフト
⑧ギヤラリー展示パネル保守点検	168,000	担当会社:クラフト
⑨客席椅子保守点検	190,000	担当会社:クラフト
⑩負担金(共用管理費)	32,855,000	担当会社:京急アドエンタープライズ
4.小計	82,423,000	
合計(1~4.)	167,702,000	

平成22年度 資金計画表

施設名

(港南区)  
港南区民文化センター

単位:千円

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人件費 給与・賃金	7,213	4,975	2,239	8,582	6,343	2,239	8,582	6,343	2,239	9,203	6,219	2,985	67,160
事務費 事務経費など	705	705	705	705	705	705	705	705	705	705	705	704	8,459
事業費 自主事業費	805	805	805	805	805	805	805	805	805	805	805	805	9,660
管理費 光熱水費など	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	6,869	82,423
<b>支出合計(ア)</b>	<b>15,592</b>	<b>13,353</b>	<b>10,617</b>	<b>16,960</b>	<b>14,721</b>	<b>10,617</b>	<b>16,960</b>	<b>14,721</b>	<b>10,617</b>	<b>17,582</b>	<b>14,597</b>	<b>11,362</b>	<b>167,702</b>
横浜市指定管理料(委託料)	14,500	10,000	4,500	17,250	12,750	4,500	17,250	12,750	4,500	18,500	12,500	6,000	135,000
利用料金収入	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	2,209	26,508
自主事業収入	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427	427	5,122
その他の収入	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	1,080
<b>収入合計(イ)</b>	<b>17,226</b>	<b>12,726</b>	<b>7,226</b>	<b>19,976</b>	<b>15,475</b>	<b>7,225</b>	<b>19,975</b>	<b>15,475</b>	<b>7,225</b>	<b>21,225</b>	<b>15,225</b>	<b>8,725</b>	<b>167,702</b>
差引残高(イ-ア+前月残高)	1,634	-628	-3,391	3,016	753	-3,392	3,015	753	-3,392	3,643	628	-2,638	0